

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	都市との連携による飯田下伊那(南信州)地域の活性化に資する事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人南信州山都共同社中
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,156,252 円 (うち支援金: 2,266,000 円)

事業内容

- 1) 自信と誇りの持てる農業の再構築事業
 - ・特色ある野菜の生産と販売促進
 - ・特色ある商品の開発と販売促進
 - ・マーケティングによる経営改革
 - ・情報の見える化推進
- 2) 一村一企業ダーチャ運動モデル事業
 - ・受入れ地区の意識醸成と準備推進
 - ・都市企業等へのプレゼン実施
 - ・企業等の「お試し来訪」招聘

事業効果

- ①稀少西洋野菜のみならず、高付加価値・高収益な野菜栽培や派生品商品化を意識し始めた。
- ②マーケティング研修から農家自身が顧客を意識した作物や商品化を意識し始めた。また、情報の見える化を進めて農業経営改善とネットワーク構築に資するため、農家自身が情報の見える化に向けて記録シートを考案し、試行が始まった。
- ③ダーチャ事業推進のため、都市企業と地方の交流先進地区と受入れ想定地区とが相互に訪問し、交流を深めながら環境整備の手法等について理解を深めた。
- ④ダーチャ事業推進のため、地域内外の6つほどの企業や団体を訪問し、先方のニーズを学びつつ、当地域の進め方の課題などを把握できた。

今後の取り組み

〔農業PJ〕

- ・令和4年度の栽培結果等を総括して翌年度の栽培計画(品目、面積等)や販売計画(販売先選定)を策定し、収益の増を図ると共に、情報の見える化を推進する。
- ・参加農家を増やす方途に対する研究を進める。
- ・リゾットセットは、開発したセットを製品化して販促を図りながら、新たなセットの開発に取り組む。

〔ダーチャPJ〕

- ・令和4年度の取組をベースにして、更に企業に対するダーチャ事業のプレゼンと当地域訪問の勧誘を行い、宝ノ戸地区訪問を実現する。



【農家PJ：夜間に熱心な議論】

【目標・ねらい】

マーケティング視点から、都市と地方の様々な交流を推進する。

- ①中山間地域農業再活性化のため、高付加価値で特徴ある野菜栽培を推進。
- ②経営意識の醸成とネットワーク化
- ③ソフト・ハード両面の交流基盤整備
- ④交流相手の発掘と施行推進

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・両事業共にマーケティング視点を学んで、参加者の意識醸成が進むなど大きな成果はあった。
- ・現農家は興味の方や顧客像等もまちまちなため、今後の進め方に課題がある。
- ・まだ定量的な評価の段階にない。